

令和8年度行事・事業計画

I 方針

1 研究会

活動方針・行動指針

今年度も会則に掲げる目的達成のため、宮事研ビジョン「みやぎの子どもたちの豊かな育ちのために～魅力ある学校づくりとともに～」の基本理念のもと活動してまいります。昨年度策定された第6次中期研修計画により、今年度は年次課題を「学校改善及び学びの機会保障」とし、本日の総会研修会、そして11月にセミナーを開催し課題に迫ります。

令和9年度全事研宮城大会開催まで残すところあと1年2か月余りとなりました。引き続き大会実行委員会により準備を進めてまいります。これからは各地区ごと割り当てられた役割による準備が本格化してまいります。7月の佐賀大会視察、12月の本部との打ち合わせ会も予定されております。また、全事研宮城支部と調査研究部を中心に分科会発表の準備も進められています。研究会会員であるか否かに関わらず宮城県の事務職員が一丸となって、みやぎの子どもたちの将来のため我々学校事務職員に何ができるのかをみんなで考えていくことができる大きな機会と考えておりますので、これまで以上に会員の皆様、そしてお近くの仲間・東北の仲間・全国の仲間と手を取り合って活動を進めていけますようご協力をよろしくお願いいたします。

昨年度の全事研加入に向けての臨時委員会、及び答申を受けての三役会での検討を受けて、全国大会宮城大会開催を契機として宮城の学校事務そして教育の未来のため、研究会として全事研に加入することについて準備検討するための臨時委員会を引き続き設置いたしたく提案いたします。

組織運営

三役会では、令和9年度全事研宮城大会開催に向けた協議、研究会として全事研に加入することについての具体的な協議を行う予定としております。

理事会では、三役会と同様宮城大会開催に向けた協議、全事研加入についての協議、そして総会研修会・セミナー運営のための協議を進めてまいります。

昨年度の総会でも触れましたが、宮城県でも、全国的にも「事務研離れ」が進んでいると承知をしております。本務業務の多忙化、事務研役員等を引き受ける方の負担、共同実施活動の定着などにより、研究活動組織の存在意義が問われているものと思います。

ご承知の通り近年の国の改革の動向により、学校の多忙化と働き方改革、学校でやるべき業務の整理等の流れの中で、事務職員の役割や職務内容の整理とともに、共同実施から共同学校事務室への移行が国から提示されております。これらの新たな課題とどう向き合っていくかを考える上で、むしろ研究活動組織の存在意義が増しているとともに、既に多くの県で進むそれらの課題に対する実践の情報や、国との密接な関わりにより多くの知見を持つ全事研への加入の必要性について提案しております。

全事研に加入することについて会員の皆様のご意見を十分に取り入れながら、具体的な

検討を進めるための臨時委員会として「宮事研が組織として全事研に加入するための準備委員会」の設置を提案いたします。委員会は、現在宮城県で任意加入により活動を行っている全事研宮城支部様と協議を行う代表としても活動を行う予定としております。(補足資料参照)

研修・情報提供

第6次中期研修計画2年目の今年度は年次課題を「学校改善及び学びの機会保障」とし、本日の総会研修会では「学校情報化」、11月の宮事研セミナーでは「コミュニティスクール」をテーマに講演、研修機会の提供を行ってまいります。

また、学校教育、学校事務を取り巻く国の動向や全国の活動の情報、とりわけ現在各県で取り組みが進む共同学校事務室制度についての情報について、様々な機会を捉えて発信してまいります。

関係機関・団体との連携

今年度も宮城県教育庁総務課と三役との意見交換会については、大きな変革の中で情報共有と現場の課題解決の場として貴重な機会であると認識しておりますので、引き続き開催を要望してまいります。

仙台市事務研様・県高校協会様・全事研宮城支部様との情報交換会については、宮城県内で同じ職につくものとして様々な情報共有を行い、ともにみやぎの子どもたちの豊かな育ちのために協力していくため、そして令和9年度全事研宮城大会開催のため、今年度も開催に向けて準備してまいります。

東北事務研研究協議会は、6月と2月に開催を予定しております。宮城大会が東北事務研大会を兼ねておりますので、大会運営とともに各分科会運営のための協議検討を行ってまいります。

来年に迫った宮城大会に向けて、今年度も引き続き研究会として全国大会実行委員会と協力して大会成功のため準備を進めてまいります。会員も含め県内の全事務職員にとって有意義な大会となるよう、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

その他会長、副会長を充て職の各役員として、宮連小中教研、日本教育公務員弘済会宮城支部、宮城県教職員互助会、教職員共済宮城県支部、みやぎ教育の日推進委員会にそれぞれ派遣し、各団体と情報共有及び意見交換を行ってまいります。

2 情報部

本年度は実態調査を情報部で行います。総会資料に実態調査についての説明および回答用二次元コードを載せておりますので、ご回答のご協力をお願い致します。

昨年度に引き続き、ホームページの更新、総会やセミナーの速報、会員投稿を行い、会員の皆さんに有益となるホームページの作成に努めます。また、全国大会や他部の活動について、情報発信をしていきたいと考えております。

※宮事研ホームページ（会員専用ログイン）ユーザー名：miyajimu パスワード：2027mj

3 研修部

第6次中期研修計画の年度計画に基づき、研修会の開催を予定しています。

総会・研修会は、研修Ⅰでは「学校情報化」に関しての講演を設定しており、アスピダ法律事務所 男澤拓 様に、学校でのA I利用の注意点や個人情報保護法など専門家の観点から講話をいただきます。急速に進む学校の情報化・I T化などへの対応や注意点などについて考えていくための一助となれば幸いです。研修Ⅱでは宮事研ビジョンについての解説を行います。

11月には、セミナーを開催します。研修部は全体の運営を担当します。コミュニティスクールや学校改善に関して講師の方からの講話を予定しております。また、参加者の交流の場としてグループ討議の設定も検討しています。充実した研修となるよう、研修部一丸となって内容の検討、運営に当たってまいります。積極的なご参加をよろしくお願いいたします。

4 調査研究部

今年度から本格的に、令和9年開催の第59回全国公立小中学校事務研究大会宮城大会 第26回東北地区公立小中学校事務研究大会 第56回宮城県公立小中学校事務研究大会において分科会を担当するための準備を進めて参ります。研究過程で調査を行う予定ですので、皆様のご協力をお願いいたします。

5 事務提要編集委員会

令和8年度も条例の改正にあわせた正確な学校事務の必携として活用できるよう、追録発行に向けた活動を推進していきたいと考えます。

私たちが取扱う仕事内容の変化や学校数減少による会員数減少などの中でも、進め方や内容等を見直しながら「信頼性のある事務提要」の編集に努めます。事務提要につきましてお気づきの点、ご意見等ございましたら各地区の編集委員までお知らせください。

なお、事務提要表紙カバーの状況が悪い場合や欠損ページがある場合、無料対応のサービスもありますので、下記あてお問い合わせください。

第一法規出版社 【お客様窓口】 Tel 0120-203-696

Fax 0120-202-974

(フリーダイヤル 9:00~17:30 祝祭日除く月~金曜)

6 全国大会実行委員会

令和9年度、ここ宮城県仙台市を会場に51年振りに全国大会が開催されます。諸先輩方がこれまでに培ってきた学校事務を土台として、新たな学校事務を創る（考える）機会になることを願います。私たちの行動が未来をつくる。多くの人と出会い、多様な考えに触れ、意見を交わすことで学校事務の未来に繋がる研究大会になるよう取り組みを進めてまいります。

今年度は、全国大会の諸準備を本格的に進めることになります。役割分担を事務局・分科会運営部（実行委員会）、総務部（仙台地区）、運営部（北部地区・大河原地区）、財務部（石巻地区）、広報部（宮事研情報部）、集録部（本吉地区）、記録部（登米地区）、研究部（調査研究部と宮城支部、宮事研研修部）とさせていただきます。各部門とも大会運営細部について具体的に準備を進めることになります。会員の皆様、各地区研究会の皆様にはこれまで以上にご協力をいただくことになりますことご理解いただきますようお願いいたします。

また、運営視察及び宮城大会PRのために、各研究大会（全事研佐賀大会、東北各県研究大会等）へ実行委員等を派遣してまいります。

半世紀振りの全国大会です。開催する以上、責任をもって素晴らしい研究大会にしたいと思っております。参加される皆様に宮城大会に参加してよかった、東北の皆と学校事務について有意義な意見交換ができたと感じてもらえるよう、「オール宮城」「東北はひとつ」という気持ちで力をあわせて進めていきましょう。

【全国大会開催経緯】

全事研から東北地区での全国大会開催の要請を受け東北事務研にて2年度間に渡る協議が行われました。令和5年2月東北地区公立小中学校事務職員研究協議会理事会にて、宮城県での全国大会開催を正式に受け入れることが確認されました。それにより令和9年度第59回全国公立学校事務職員研究大会宮城大会兼第26回東北地区公立小中学校事務職員研究大会宮城大会兼第56回宮城県公立小中学校事務職員研究大会が宮城県仙台市を会場に開催されるはこびとなりました。

東北地区で全国大会が開催される場合には、東北大会も兼ねることと申し合わせがあったことから、東北地区公立小中学校事務職員研究協議会に加入をしている当研究会も東北大会を兼ねる全国大会運営にあたるために、全国公立小中学校事務職員研究会宮城支部と協議・協力のうえ令和6年7月全国大会実行委員会を設置いたしました。それから約1年6ヶ月、全国大会開催に向け取り組みを進め現在に至っております。